

株式会社両備システムズ「i-Blend」

実証概要

生活に身近なデジタル機器であるスマートフォンを活用し、高砂市公式アプリにポイント機能を追加して市民が事業に参加しやすい環境を整備する。

ポイント事業を展開することで、市民に脱炭素行動や地域コミュニティの活動促進等に資する行動変容および地域課題への関心や高砂市の魅力認識に関する意識変化を促す。

○実証期間

令和6年9月～令和6年11月

○実施内容

市または地域が主催する事業に対して、デジタルツールを活用して参加者の行動変容、意識変化について効果を測定する。



○周知の取組

たかさごナビの利用者に対し、適時プッシュ通知を行い、実証事業参加への効果を確認する。

○データの収集方法

たかさごナビのアンケート機能を活用して、アンケートを実施する。



地域課題への関心、高砂市の魅力の評価が変化したのはどんな人か



地域課題への関心を高め、魅力を知ってもらうにはどの事業が有効か

株式会社両備システムズ「i-Blend」

実証目標

○定量目標

	項目	指標	備考
1	参加主体数	5団体以上	実証事業及び関連する取組において連携した主体数
2	利用登録者数	500人以上	アプリ内ポイント機能の利用登録者数
3	特典応募者数	100人以上	ポイントを消費して特典抽選に応募した人数
4	地域への関心増加率	5%以上	利用者登録時及び抽選申込時における地域課題への関心度及び魅力の評価に関する変化率の平均値

○定性目標

実証事業で実施するアンケートを通じて、5段階評価指標の遷移から、地域課題への関心度及び高砂市の魅力認識が変化する人がどのような人かを明らかにする。

また、地域課題への関心を高め、魅力を知ってもらうにはどの事業が有効かを明らかにする。

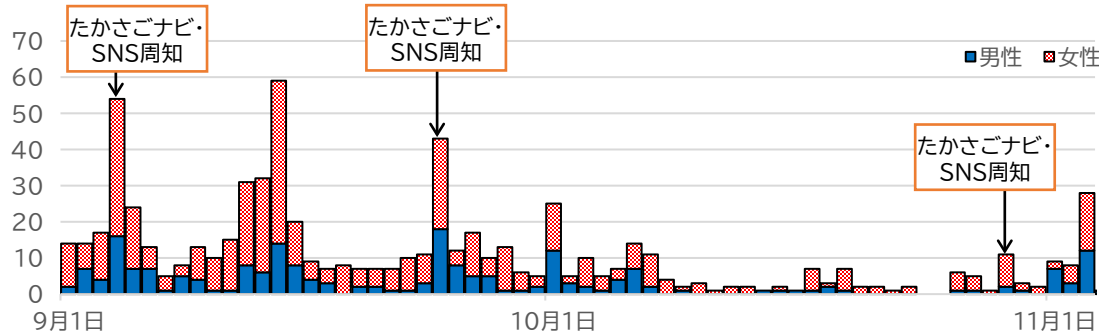
株式会社両備システムズ「i-Blend」

実証結果

○定量目標

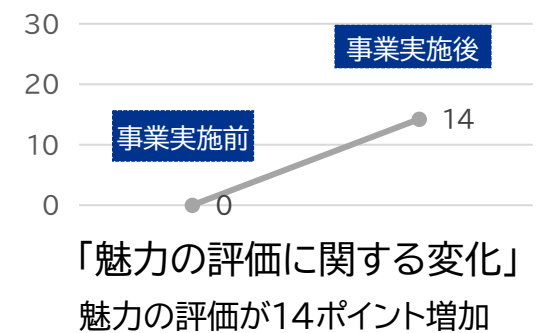
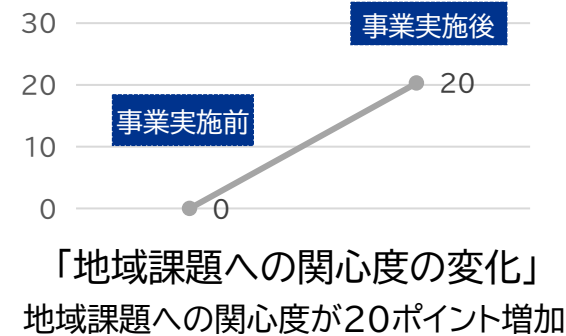
	項目	指標	実績値
1	参加主体数	5団体以上	5団体
2	利用登録者数	500人以上	751人
3	特典応募者数	100人以上	212人
4	地域への関心増加率	5%以上	6%

○利用登録者の推移



利用登録者は、高砂市公式アプリ「たかさごナビ」や高砂市公式LINEによる周知を行った時期に顕著な増加がみられた。
また、ポイント獲得事業への参加の契機については、アンケート結果から、たかさごナビが最多(29%)、次いで広報たかさご(27%)となった。
以上のことから、高砂市公式たかさごナビでの周知が紙媒体(広報たかさご)と同等程度に市民の広報手段として有効であることが確認できた。

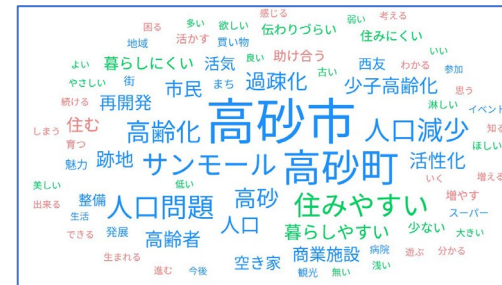
○関心度など事業実施前後での比較



○関心度など変化者の回答理由

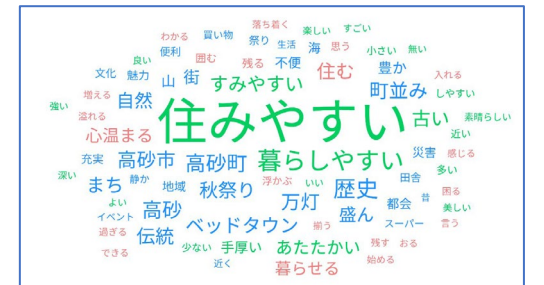
「地域課題への関心度」

地域課題に関心がある層では、人口減少、高齢化、過疎化などの人口関連の他、商業施設整備に関心があった。
属性としては、関心度が高くなったのは男性が多かった。



「魅力の評価に関する変化」

魅力の評価に関心のある層では、住みやすさ、暮らしやすさを魅力と捉えている。さらに、自然環境、歴史・伝統、地域イベントも見えてきた。属性としては、30代以下、70代の男性が多かった。



株式会社両備システムズ「i-Blend」

評価

【実証事業の評価】

「地域課題への関心、魅力の評価が変化した人物像とその理由」

- ・実証においては、幅広い年代の方が参加していた。主に30～70歳代であり、女性が69%を占めていた。
 - ・関心度などの変化があったのは男性が多く、会社員などの就労者が多い傾向にあった。
 - ・60、70歳代の女性については、そもそも課題に意識が向いていない方もいた。
 - ・人口減少、少子化、地域の高齢者への対応は、すべての年代の共通の課題であった。
 - ・地域愛を持って、地元を良くしたいと考えている人も多かった。
- 自然環境、歴史・伝統、地域活動への理解を深めることは、イベントなどを通じた地域の魅力の発信において有効な対策となることがわかった。

「デジタル意識調査」

- ・デジタル機器の利用状況と情報収集媒体の実態を確認したところ、「コロナを経てデジタルへの関心は高まっている(73%)」、「スマートフォンの利用頻度は「ほぼ毎日使用」(99%)」であった。
- スマートフォンは幅広い年代で普及しており、デジタルへの関心・期待も高まっており、スマートフォンを基本としたサービスの受入環境は整っていることがわかった。

「たかさごナビの機能面について」

- ・汎用的な機能をリリースしているため、短い準備期間で実証を実現できた。
 - ・高砂市において、すでに普及している「たかさごナビ」をベースとすることで、市民への周知に効果があった。
 - ・参加者の関心の変化を属性と紐づけて、変化を詳細に分析することができた。
 - ・運用面においては、参加者のポイント獲得時にQRコードが読み取れない事象が起きたため、市職員様の負担が発生した。
- 汎用的な機能を一部運用に即したリマインド機能の追加など、さらに運用が円滑にできるよう検討する必要があることがわかった。